家庭数配付

平成27年度学校だより
善誘館 NO．6
H．27．10．23
甲府市立善誘館小学校　校長室

校　訓　　「善行・勤勉・体育」
学校教育目標
○　思いやる心をもつ子
○　よく考え工夫する子
○　元気でたくましい子

本校の学力・学習状況をおしらせします

本年度の全国学力・学習状況調査が４月２１日(火)に，全国の小学校第６学年及び中学校第３学年の全児童生徒を対象に実施されました。本校でも６年生が参加しました。

調査内容は，①教科に関する問題(国語・算数・理科)と，②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査です。国語と算数は，Ａ：主として「知識」に関する問題と，Ｂ：主として「活用」に関する問題に分かれています。

この調査の目的は，その学校の児童の学力や学習状況を把握・分析し，各教科における課題や生活状況の実態を明らかにすることにより，今後の指導内容や指導方法の改善及び生活指導などに役立てることです。このたび，調査結果の分析がまとまりましたので，その概要をお知らせするとともに，本校のホームページにも掲載していきたいと思います。

なお，調査に参加しました６年生一人一人には，個別懇談会を利用して個人票をもとに，具体的に課題等について説明していく予定です。

分析結果の概要

１　本校の状況(全国と比較)

調査の結果につきましては，山梨県教育委員会の分析にもあるように，全国平均正答率の＋－５％の範囲にある場合は，全国平均とほぼ同等であると考えています。

本校の国語の結果は，国語Ａは全国平均とほぼ同等となっていますが，やや下回りました。国語Ｂでは全国平均とほぼ同等になっています。算数では，算数Ａは全国平均とほぼ同等となっています。算数Ｂは，全国平均とほぼ同等となっていますが，やや上回りました。理科は，全国平均を上回りました。

２　教科ごとの状況と課題　　○定着している内容　◇課題のある内容

国　語

Ａ 主として「知識」に関する問題

○話の聞き方の説明として適切なものを選択する問題の正答率は，全国平均をやや上回っており，話の内容に対する聞き方の工夫ができている。

○文章の中から，必要な情報を読み取る問題の正答率は，全国平均を上回っている。情報を取捨選択する力がついている。

◇学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり書いたりする問題の正答率は，全国平均をやや下回っている。

◇登場人物の相互関係を正しく捉えて説明する問題の正答率は，全国平均を下回っており理解が十分でないといえる。

B　主として「活用」に関する問題

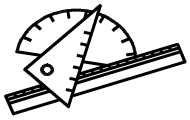
○目的に応じ，新聞の割り付けをしたり記事に見出しをつけたりする問題の正答率は，全国平均とほぼ同じで適切なものを選択する力は付いている。

○文章と図を関係付けて，自分の考えを書く問題は，全国平均を上回る正答率で，「書く」力は身に付いている。

○登場人物の行動を基にして，場面の移り変わりを捉え適切なまとまりとして選択する問題は，全国平均に比べ正答率は高く，文脈を理解する力は付いている。

◇目的に応じ，中心となる語や文を捉えたり，文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉えたりする問題は全国平均に比べて正答率がやや低い。

◇登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読をする時の工夫とその理由を書く問題は，全国平均に比べて正答率が低い。



算　数

A　主として「知識」に関する問題

○小数のたし算の結果を，ひき算を用いて確かめる問題は全国平均を上回り，計算の確かめの方法は理解できている。

○日常生活の中で必要となる時刻を求める問題の正答率は高く，全国平均を上回っている。

○１８０°より大きい角の大きさを，２直角や３直角を基に捉える問題や，１８０°や３６０°を基に分度器を用いて大きさを求める問題は，全国平均に比べて正答率が高く，身に付いている。

◇小数のひき算（８．９－０．７８）は，全国平均に比べて正答率が低い。

B　主として「活用」に関する問題

○示された二通りの道のりが等しくなる理由として，図形を見つけその図形について文で書いて答える問題の正答率は全国平均に比べて高く，数学的な考え方もできており，更に自分の考えを文章で表現する力も付いている。

○単位あたりの大きさを用いて，目的に応じた買い物の仕方を選択し，代金を求める問題は，全国平均に比べて高く，数量についての技能が身に付いている。

○示された情報から基準量を求める問題で，比較する量と割合から基準量を求める正答率は，全国平均に比べて高く，数学的な考え方ができている。

○正三角形の性質や合同な三角形の性質を基に出した角度を見つけ，その理由を文章で書く問題は全国平均に比べ高い正答率である。図形について数学的な考え方ができている。

○切り上げた場合の見積もりの結果を基に，目標に達しているか判断する問題は，全国平均に比べて高い。

○示された図形の色が付いた部分の面積を求める問題の正答率は，全国平均に比べて高い。

◇四つの数を四捨五入して，千の位までのおよその数に表し，それらの数の和を求める式と答えを書く問題の正答率は，全国平均に比べて低い。

理　科

A　主として「知識」に関する問題

○メスシリンダーの名称の理解やメスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方の問題は全国平均の正答率より非常に高く，観察・技能の力が付いている。

○顕微鏡の名称を書く問題は全国平均に比べ非常に高い。

◇顕微鏡の適切な操作方法を選ぶ問題の正答率は，全国平均に比べやや低く，名称の理解はできているが，それが操作方法の十分な理解にまでは至っていないことがわかる。

B　主として「活用」に関する問題

○振り子時計の調整の仕方を調べるための実験について，適切に条件を変えた振り子を選ぶ問題は，全国平均に比べ正答率が高く，科学的な思考・表現の力が付いている。

○振り子時計の進み方を調整する内容を選ぶ問題は全国平均に比べ非常に正答率が高く，振り子の運動の規則性を振り子時計の調整の仕方に適用できる力が付いている。

○電磁石と磁石が退け合うようにするための極の組み合わせを選ぶ問題は，全国平均に比べ正答率は高く電磁石と磁石が退け合う性質の理解ができている。

○方位を判断するために，観察した事実と関係付けながら情報を考察し分析する問題は，全国平均に比べ正答率が高い。

○観察した正座や雲の動きを選ぶ問題は，全国平均に比べ高い正答率である。

3　教科における主な改善点

国　語

※漢字を習得させるためには，新出漢字を繰り返し練習したり，既習の漢字を意図的に復習したりする機会を多く設ける。

※実生活の中で書く文や文章（ノート，連絡帳，日記，提出物など）において，既習の漢字を正しい書き方で書く習慣を身に付けさせる。

※筆者の考えを根拠づける語や文を見つけるための手段として，語句の意味を正しく捉えたり，指示語や接続語の役割を正しく理解したりする指導をしていく。

※言語環境を充実していくために，読書活動のさらなる推進を図り，読み聞かせなどを利用して多くの物語に触れる機会を増やしたり，市立図書館を積極的に活用したりしていく。

算 数

※基礎的な事項については，習熟を図るために繰り返し取り上げ学習に取り組ませる。

※子供たちが学習内容をどのように意味理解しているかや問題に対してどのように考えて答えを導き出したのかという思考過程を大切にする授業づくりを行っていく。

※事前に見通しを立てたり，事後に振り返ったりする学習を授業の過程に位置づけることで，より深い理解を生み出す授業づくりに取り組む。

※日常生活の具体的な場面に即して，目的に応じて概数を用いて見積もったり，概算のための式を比較したりする場の設定をしていく。

※算数の学習から見い出した考えを，条件を変更した場面に活用して，発展的に考察する学習を充実させていく。

理 科

※実験器具を適切に操作できるように，操作方法を具体的に示し，児童一人一人が実際に操作を行えるようにする。

※観察や実験の結果を表やグラフなどに整理して，考察したことや判断した説明ができるように指導していく。

※日常生活の中で見られる現象に興味や関心を持ち，自分で考えたり説明したりする活動を取り入れていく。

4　質問紙調査の主な特徴　　○肯定的に捉えられている特徴　　◇課題として捉えるべき特徴

本校の児童の生活習慣や家庭学習などの主な状況は以下の通りでした。

○「家で，学校の予習・復習をしている」と回答している児童の割合は，全国に比べて非常に高い。

○「学校に行くのは楽しい」「学級の決まりを決めている」と回答している児童の割合は高く，全国平均を大きく上回っている。。

○「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」と回答した児童の割合は，全国平均に比べて非常に高い。

○「いじめは，どんな理由があってもいけない」と回答している児童の割合は，全国平均より高い。

○「国語の勉強は好き」と回答した児童の割合は高く，全国平均を上回っている。

○「読書が好き」と回答した児童は，全国平均を大きく上回っている。

○「学校の授業以外に普段(月～金曜日)，１日当たり２時間以上読書をする」と回答した児童の割合は，全国平均を上回っている。

○「理科の勉強は好き」「理科の勉強は大切だと思う」と回答した児童に割合は，全国平均を上回っている。

◇「毎日同じくらいの時刻に起きている」と回答した児童の割合は，全国平均に比べて低い。

◇「平日(月～金曜日)，１日当たりどれくらいの時間，テレビやビデオ・ＤＶＤを見たり，聞いたりしますか」という質問で，２時間以上と回答した児童が全国より多く，４時間以上の児童も以全国平均より多い。

◇「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」と回答した児童の割合は，全国平均を下回っている。

5　質問紙調査からの改善点

※読書好きな児童が多いので，読み聞かせなどをこれまで以上に充実させ，朝読書・図書室での授業のさらなる工夫をして，より一層の読書活動の推進に努める。

※家庭との連携を進めていく中で，さらに基本的な生活習慣の定着を図り，生活のリズムを作っていく。

※家庭学習は，「学んだことを定着させる」という重要な役割であることを，教職員で再確認し，課題の内容と量について共通理解を図っていく。

質問紙調査の結果から，本校の児童は，「学校に行くのは楽しい」「家で予習・復習をしている」という，学習に対する意欲・関心・態度の意識も高く，読書することが大好きであることがわかりました。

本校では，毎朝の読書活動や読書ボランティアによる読み聞かせ，図書委員会の活動などにより，読書活動の推進に取り組んできました。これらの取り組みが，言語活動の充実につながり，国語の学習にも非常に良い影響があると考えます。今後も，学校や家庭での読書活動を進めていきたいと思います。

家庭学習は，「学んだことを定着させる」という重要な役割があることを再確認し，学校でも課題の内容と量について学年の発達段階を考慮しながら，さらに工夫改善をしていきたいと考えています。

御家庭におきましても，子供たちがより良い学習環境の中で，自信を持って学習に取り組めますよう御理解と御協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。